

酒井宏明先生（酒井国際特許事務所所長）の講演、熊澤宏之先生（大阪産業大学教授）の講演

- ATIS9 月度例会 -

2014年9月18日、虎ノ門の金沢工大で、9月度例会が開催されました。

代表幹事報告に続いて、新メンバーとなるセキスイドキュメントサービス㈱の石原幹也社長から、ご挨拶をいただきました。新しい仲間が増え、活動がさらに充実しそうです。

つづいて、2件の講演をいただきました。

酒井宏明先生『知財をめぐる日本企業の課題 - 海外グローバル企業が展開する知財戦略を通して見る日本企業の課題とは - 』

「サムスンの強さの秘密」をご紹介いただきました。



企業概要、新生知財ビジョン、特許出願・管理戦略、知財係争戦略、知財ポートフォリオ戦略、職務発明対応、同伴成長戦略の各項目につき、詳細なご説明をいただきました。

イ・ゴンヒ会長の指揮のもと、すばやく緻密な事業展開する「ジャイロスコープ経営」、進出した国に合わせた商品開発、医療機器・太陽電池・自動車用バッテリーなどの未来戦略、「No Patent No Future」という名のもとのR&D戦略・知財戦略、知財の3割を外部調達する方針など、印象的なご講演内容でした。比較として、改めて日本企業自身の課題を考えさせられます。酒井先生、ありがとうございました。

熊澤宏之先生『「つながる」が実現するスマートな交通システム』

自動車が「つながる」という機能を持ち始めている、という内容をご紹介いただきました。

「つながる」機能を活用して、事故や渋滞の少ない交通システムや安全な社会の実現に取り組んでいるとのことでした。

「Intelligent Transport Systems」について、「自動運転」を中心に、ビデオを交えて、詳しいご説明をいただきました。自動運転への自動車メーカー、部品メーカーの取り組みの現状、将来像を理解することができました。高速道路では、近い将来、自動運転が可能になりそうな感触をもちました。

また、「プローブ情報システム」について、世の中の動向、ビックデータとその課題をお話いただきました。東日本大震災が起きたときの人の動きを可視化したアニメーションは衝撃的でした。ここまで進んでいるんだと驚くばかりでした。熊澤先生、ありがとうございました。

例会後の懇親会では、ワインを片手にイタリア料理に舌鼓。大いに盛り上がりました。

